図書館メール News　第 580 号……＞＞＞＞＞2026.10.15 発行

目次

【1】--- 教員コラム 20 弾 第 5 回「急ぐこと、立ち止まること」
救急・災害医療システム学／松山匡

【2】--- 中田秀夫監督のインタビュー記事をアップしました

【3】--- 貸出用モバイルバッテリーを追加。5→10 台に！

【4】--- 図書館 2 階のドリンク自販機が新しくなりました

【5】--- アート作品が新しくなりました

【6】--- [10/29(木)開催]【クラリベイトセミナー】
Web of Science の査読やりとりから学ぶ、査読者への効果的な応答方法

[Book Review]・・・編集後記にかえて

【1】--- 教員コラム 20 弾 第 5 回「急ぐこと、立ち止まること」

救急・災害医療システム学／松山匡

振り返ってみると、私は子どもの頃から図書館に足繁く通うような読書少年ではありませんでした。ただ、本を読むこと自体は比較的身近にあったように思います。

小中学生の頃はサッカーに夢中でした。少しでも上手くなりたくて、技術や練習方法について書かれた本をよく読んでいました。当時は遠方まで電車でサッカーを習いに行っていたため、その往復の車内が格好の読書時間でした。本で知ったことを次の練習で試し、また分からないことを調べる。今から考えると、「知りたいことを本で調べ、それを実際に試してみる」という習慣は、この頃からあったのかもしれません。

高校生になると、受験勉強の合間に、三浦綾子や遠藤周作をはじめ、さまざまな文学作品を読むようになりました。それまでの「何かを学ぶための読書」とは違い、物語や文章

そのものを味わう楽しさを知った時期でした。受験勉強とは関係のない本を読む時間が、よい気分転換にもなっていたように思います。

大学に入ってからは東野圭吾などの小説を読みながらも、今度はラグビーに没頭しました。大学から始めた初心者でしたので、少しでも周囲に追いつこうと、技術書や戦術についての本、雑誌のコラムなどを読み漁りました。サッカーの頃と同じように、知識を得て、実際に試してみるための読書でした。

医師になってから、「読むもの」は大きく変わりました。臨床に出た当初は、指導医からUpToDate などの二次資料を使って疑問を解決する方法を教わり、やがて日々の診療で生まれる細かな疑問について原著論文まで遡って読むようになりました。さらに研究を始めると、今度は自分自身の研究の問いを考え、研究計画を立て、結果を解釈するために論文を検索し、読むようになりました。同じ医学論文でも、自分のステージによって向き合い方は少しずつ変わってきたように感じます。

そして今、読むことを取り巻く環境はさらに大きく変化しています。AI を使えば、必要な論文を探し、概要を短時間で把握し、資料作成まで非常にスムーズに進められるようになりました。私自身、その便利さを日々実感しており、以前に比べて論文を最初から最後まで読む機会は減っているようにも思います。

救急医療の現場では、限られた時間で情報を集め、判断し、すぐに行動することが求められます。その意味で、必要な情報に素早くたどり着ける AI は、救急医である私にはとても相性のよい道具です。一方で、研究や学問では速さだけでは不十分です。ときには立ち止まり、一つの論文をじっくり読み、なぜこの研究が行われたのか、方法は妥当なのか、この結果から本当にそこまで言えるのか、と考える時間が必要です。要約された情報を得ることと、自分で読み、考え、吟味することは、やはり同じではありません。

救急では素早く動く。しかし、学ぶときには立ち止まる。読む対象も目的もずいぶん変わりましたが、「知りたいことがあり、読み、考えて、次に生かす」ということは昔からあまり変わっていないのかもしれません。情報を得ることがこれまでになく容易になった時代だからこそ、速さを生かしながらも、ときには一冊の本や一本の論文の前で立ち止まり、じっくり考える時間を大切にしたいと思っています。

※過去の教員コラムは、こちらです。

【2】--- 中田秀夫監督のインタビュー記事をアップしました

……

12/11(金)に本学で講演いただく中田秀夫監督のインタビューを、広小路キャンパス活性

化プロジェクトホームページにて、公開しました。ぜひご覧ください。
（前編）日本人のもつ死生観、幽霊への共感、静かな恐怖がＪホラー独自の魅力
（後編）図書館での本との出会いは文化的な刺激に溢れた体験でした。

講演会当日は、中田監督が大映太秦撮影所で助監督見習いとして働いていた頃の思い出や、2020 年に『恐怖新聞』を撮影した際のエピソードなどをお話しいただく予定です。どうぞお楽しみに！

映画監督 中田秀夫 特別講演会 「映画作りと図書館」
開催日時 2026/12/11（金）14:00
会場 京都府立医科大学図書館ホール
定員 先着 250 名（事前申込が必要です）
参加費 無料
申込方法 申込フォーム https://forms.gle/GDGKMy6VWkoQpL6Z9
（1 回のお申込みで 2 名まで受け付けます）
サイン会 ご希望の方にはサイン入りチラシを差し上げます。
主催 京都府立医科大学附属図書館
チラシ こちら

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

11 月に開催する、アーティスト・作詞家 サエキけんぞう氏の特別講演会も、参加者受付中です。
「ビートルズと若者革命の時代」
＜日時＞ 2026/11/27（金）14:00
＜申込フォーム＞ https://forms.gle/jToforZ2dZRQSqaT6

【3】--- 貸出用モバイルバッテリーを追加。5→10 台に！

……

図書館で貸出しているモバイルバッテリー(充電器)を、好評につき 5→10 台に増やしました。容量 18,000mAh、USB-C/USB-A/Lightning のケーブルとセットです。貸出は当日中（平日 21:00、土日 18:00 まで)。図書館外への持出しも OK。ご利用の際は、学生証/職員証あるいはスマホ利用証を持参ください。貸出対象は学内者のみですが、学会やセミナー

の際に代表の学内者が貸出して利用することもできます。

【4】--- 図書館 2 階のドリンク自販機が新しくなりました

……

図書館 2 階ラウンジの自動販売機が新しくなりました。42 個の選択ボタンがある、大きなタイプです。現金がなくても、自販機キャッシュレスアプリ「ジハンピ」にて、例えば大学生協のアプリ(公式)でのタッチ決済が可能です。特に図書館閉館の 21 時以降、自習スペース(第 3 閲覧室)で 23 時まで勉強する皆さんには貴重な水分補給源。どうぞ活用してください。

【5】--- アート作品が新しくなりました

……

「Koto Square」では、京都を中心に活動するアーティストの作品を展示しています。10/5(月)から新しい作品の展示が始まりました。作家 長谷川(be 京都)さんによる風景画です。油絵やオイルパステルで色彩豊かに描かれた海外の建物や町の風景を眺めていると、旅をしている気分を味わえます。勉強や読書の合間に、アート作品もじっくりご覧ください。

【6】--- ［10/29(木)開催］【クラリベイトセミナー】

Web of Science の査読やりとりから学ぶ、査読者への効果的な応答方法

……

英語論文の提出を終え、査読結果が戻ってきたとき、どのように対応すればよいか迷う方がいるかもしれません。Web of Science 上にて公開されている査読のリアルなやりとりを収集し、英語表現を紹介します。査読者の指摘に適切かつ丁寧に対応する心得と、便利な英語表現を提案します。

【日時】2026/10/29(木)14:00～14:50
【講師】中山裕木子氏（株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役）
（一般社団法人 日本テクニカルイングリッシュ協会 代表理事）
【申込】https://discover.clarivate.com/20261029_Uenglish2_Reg
【プラットフォーム】Cisco 社 Webex Webinar
※登録者には、セミナー後にメールにて録画版を案内します。当日都合のつかない場合でも、事前登録をご検討ください。
※本学では Web of Science は契約しておりませんが、受講は可能です。

他に、WILEY 社が主催する英語での研究発表ガイドなど、大学外部で実施するセミナーは、図書館ホームページのオンラインセミナーのページからご覧いただけます。

[Book Review]・・・編集後記にかえて

……

ロビン・スローン『ペナンブラ氏の 24 時間書店』（東京創元社 2014）

失業中だった主人公がようやくたどり着き、働く風変わりなお店「ミスター・ペナンブラの 24 時間書店」。ほとんど人が訪れないのに、24 時間営業で、三交代で店番をしている。梯子つきの高い棚には、謎の本がぎっしり詰まっているとともに、主人公は、いろいろおかしなことが伝えられる。店主のペナンブラから、棚に入っている本の中身を見てはならないと厳命されている。どうやら暗号で書かれているらしいそれらの本の解読に、仲間とともに、こっそりと挑むこととなる。500 年越しの謎に対し、ちょっとした糸口から紐解いていくストーリーは楽しい。彼らは 1 冊の本によってめぐりあい、1 台のコンピュータによって翻弄され、本によって常軌を逸するようになった人々との出会いを経て何かを手に入れ何かを失います。グーグルも登場するなどワクワクしながら読み応えがあります。（H.T.）
（京都府立図書館所蔵「K-Libnet」で貸出が可能です）

KPUM Library Booklog：https://booklog.jp/users/kpumlib
この本のページ：https://booklog.jp/item/1/4488010180

……

図書館メール News580 号　　2026.10.15 発行（隔週木曜日発行）
編集・発行：京都府立医科大学附属図書館
library@koto.kpu-m.ac.jp
https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/

……

（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）
https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html